

自己評価結果公表シート

みいけだい幼稚園

1. 本園の教育目標

人、社会、自然に貢献できる人創りを教育理念とし、日々の様々な取り組みを通じて、子どもたちの基礎能力(体力・集中力・忍耐力)を育む。また、一人ひとりの長所を褒めることで、自信と成長につながると信じ、幼稚園教諭が1人ひとりの子どもたちの存在を認め、子どもたちが喜ばれるために存在していることを伝えていく。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

認定こども園として、2歳から5歳児までの一貫教育の中で、幼児教育としての本園の教育内容の確認をし、教職員の共通理解をはかり、さらに教育の質を高めていく。幼稚園、家庭、地域をつなぐ子育て支援を行う場としての役割をもつ。優秀な教員の確保と育成をする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成について全教職員の共通理解をする。	園内で勉強会を設け、本園の教育目標と照らし合わせたり、現実の保育に沿わせるように具体的な場面について話し合う。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎週学年ごとに達成状況や計画を報告し合うようにしている。
園内研修の充実を図り、幼児の主体的な活動が確保できるようにする。園外研修に参加し、教職員の資質向上を図る。	全教職員の参加のもと子どもの姿を把握できるように取り組み、実践していく。各種研修会でや研究会に参加し学んだことを資料にまとめ職員間において提供し、共有化を図るようにしている。
保護者の幼稚園教育の理解と子育て支援、家庭支援の再構築に努める	園の教育方針や取組を情報発信するように園だよりやブログ・メール配信にて記載し積極的に園と家庭との教育連携をとる。子育て相談を実施(子育てカフェ)
優秀な教員の確保と育成	労働環境、給与面、カリキュラムや行事等も見直す。先輩からの温かく細かく丁寧な指導の積み重ね、個人面談で悩み等聞く機会を増やす。インターンシップの実施。
食育への取組みの強化	子どもたちが、喜ぶ献立を工夫するとともに衛生面には、最大限注意を払い調理するよう努める。アレルギー等の園児には、保護者と連携を密にし除去食など個に配慮している。様々な食材に触れさせ、より食に対する興味を持たせる。

	<p>給食だよりに食育の記事やレシピを掲載し、保護者向けに旬の食材など紹介した。</p> <p>食事のマナーも指導している。</p>
園児の健康を守る	<p>年々気温の変化が激しく、7月頃より高温多湿の日々が続く、園児の熱中症対策が急務となった。</p> <p>クーラーの利用や屋外での活動の時間も短縮した。</p> <p>また、嘔吐時の処理を必ず使用して処理徹底を行うようにした。</p> <p>日々の乾布摩擦で、自律神経の強化も行い、子どもたちにもその効果を十分伝えた。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題と園の方向性について、全教職員が共通に理解をし、関係者からの評価を誠実に受け止めながら、本園としての方針を明確にすることができ実践に結び付けている。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園内教員研修	<p>外部講師を招聘しての園内研修により、研究主題についての共通理解ができ研究の視点を明確にする。</p> <p>5領域のバランスのとれた保育を提供していく。</p>
自己点検、自己評価	<p>基本項目を点検課題として挙げているので、各教諭においてはさらに課題をあげるようにし、自己研鑽にとりくむようにする。</p>
子育て支援の充実を図る	<p>地域の就園前児及びその保護者を対象として園庭解放・ふれあいタイム・親子のコミュニケーションを育める空間の提供を図る。</p>
自園の再評価	<p>学校評価をふまえた本園の教育内容、自己点検、自己評価の在り方について教育の見える化に取り組む。</p>
安全指導	<p>火災・地震時の避難訓練、不審者の声掛けなど安全についての意識を高める指導を強化する(月1回の訓練実施・避難タイム計測)</p> <p>特に避難訓練については、様々な状況設定して訓練を重ね、どんな状況でも子どもたちを安全に非難できるようにしていく。</p>

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。